

# ご存じですか！文化財 「石敢當」

市指定有形文化財  
昭和31年9月24日指定

22



所在地 中央2-5-27 千方神社境内

の東の木戸の近く（旧仲町・中央2丁目）に、市の繁栄を願つて造立されたものです。

石柱の正面の石敢當の文字は、当時の江戸でも有名な漢学者であり、書家でもあつた亀田鵬斎の書です。昭和29年に千方神社へ移設されました。

石敢當は沖縄をはじめとする南西諸島から九州南部に多く見られ、関東地方では非常に珍しいものです。

なお、加須市内には騎西・上崎の龍興寺に明和8（1771）年に造立された、高さ70cmの石敢當があります。

境内の石敢當です。石敢當は「いしがんとう」「せつかんとう」とも呼ばれる中国で始まった魔よけの石柱です。石敢當は力士、または武将の名前ともいわれ、石敢當の文字を彫つたり書いたりした石柱を、道路の突き当たりや橋のたもとなどに建てるときまざまな邪気をくい止め、これを追い払うといわれています。

この石敢當は高さ128cm、幅52cmで、文化14（1817）年に、加須の五と十のつく日に開かれた、青縞の取引を中心に賑わった五十市の世話人によつて、市が立つた往還（加須の町中の大通り）



紹介者 宮崎 勝也さん（北小浜）